

科目名		消化器内分泌外科学実習	
科目責任者		平 田 敬 治	(第1外科学 教授)
担当者		柴 尾 和 徳	(第1外科学 准教授)
開講時期:		2～4年次	単位数: 6 単位
			時間数: 90分× 90 回
● 科目の教育目標			
授業の目的			
消化器・内分泌外科学領域における臨床的問題解決のために必要な基礎実験手技や臨床疫学・統計学的手法について実習を行いその手技を習得する。			
到達目標			
1) 遺伝子操作・実験動物に関する申請書類を作成することができる。			
2) 臨床研究実施に必要な倫理申請書類を作成することができる。			
3) 研究目的での臨床検体取得のための適切なインフォームドコンセントを得ることができる。			
4) 各種臨床検体を研究目的で用いるための匿名化等の手続きを行うことができる。			
5) 研究目的での適切な臨床検体の処理と保存ができる。			
6) 臨床検体より遺伝子や蛋白を抽出することができる。			
7) 各種の分子生物学的手法を用いて遺伝子や蛋白異常の解析を行うことができる。			
8) 遺伝子や蛋白異常について臨床的結果との統計学的評価をすることができる。			
9) 細胞株や動物を用いてより基礎的な機能解析実験を行うことができる。			
授業計画			
4～6月		1)、2)	
7～9月		3)、4)	
10～12月		5)、6)、7)	
1～3月		8)、9)	
授業内容および方法			
スライドや資料を使った実習または演習。			
● 評価方法		検討会での討論・発表・レポート等で総合評価する。 評価基準として 優 (80点以上) 良 (70点以上) 可 (60点以上) 不可 (60点未満) とする。	
● 参考文献		実習の中で必要に応じ紹介する。	